

令和元年度
事業会計決算書

公益財団法人浜松市花みどり振興財団

目 次

A. 令和元年度 財団事業報告

1. 概況	1
2. 事業報告	3
3. イベント報告	7
4. 議決事項	9
5. 役員に関する事項	10
6. 職員に関する事項	11

B. 令和元年度 財団事業会計決算

1. 貸借対照表	12
2. 正味財産増減計算書	14
3. 正味財産増減計算書内訳表	16
4. 財務諸表に対する注記	18
5. 附属明細書	22
6. 財産目録	24

A 令和元年度 事業報告

1 概況

(1) 花き類の栽培や展示等の事業を通して、花みどりの普及と情操教育の場の提供に努めるとともに、園芸文化の創造と浜名湖地域社会の活性化に資することを目的に平成25年4月、公益財団法人として設立された当財団は、浜松・浜名湖周辺の貴重な観光資源としての集客施設（フラワーパーク及び動物園）の運営に加え、地域に貢献しうる公益目的事業（園芸文化普及・情操教育推進事業）推進と円滑な法人運営を行いました。

特に令和元年度は「はままつフラワーパーク開園50周年」となる令和2年度を目前に控える中で、令和2年3月からの円滑な記念事業実施のため、市と連携し、園の活性化への動きを加速させました。

ハード事業では、新たに導入されたUD対応スロープカー（昇降機）やグレードアップした噴水装置を活用し、集客効果と来園者満足度を高めるとともに、ソフト事業では「大物盆栽展」を今年度の主要事業として企画するなど、伝統園芸文化の継承にも取り組むことで、市民に一層愛され、親しまれる園となるよう、努めてまいりました。

「世界一美しい桜とチューリップの庭園」が最盛期となる春の一大イベント「浜名湖花フェスタ2019」では今年度も周辺観光施設と連携し、民間主導で開催（平成31年3月21日から令和元年6月30日までの102日間）し、県内はじめ東海地域からのお客様を中心に来場者は期間中、264,888人を数えました。

入場者目標50万人は達成できなかったものの、「花の浜名湖」としての地域の賑わい創出と、浜名湖周辺の観光活性化に寄与するなど、春の一大イベントとして着実に地域に根付いています。

この他、「花とみどりのまち・浜松」推進のため、昨年に引き続き浜松磐田信用金庫、天竜浜名湖鉄道と連携し、沿線や駅舎周辺等に花を植え、育てていく「天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレープロジェクト」に取り組みました。市民生活に密着した新たな花みどり文化を提案し、地域の魅力を一層高めることで、花とみどりあふれるまちづくりの市民意識と緑化思想の高揚に貢献できました。

一方、フラワーパークの年間入園者数（有料無料計）は460,286人で、前年度と比較すると27,831人、6.4%の増加となりました。また、当初計画は50万人としており、達成率は92.0%となりました。

桜とチューリップの満開時季がなかった前年度から一転し当年度はその見頃が年度当初に重なり好スタートを切ったものの、年度後半はコロナウイルス感染拡大の影響で計画を達成できませんでした。

今後の先行きの不透明感やレジャーの多様化等の環境下で入場者増を図るのは容易ではありませんが、財団スタッフの力を結集し、何度でも足を運びたいくなるような園づくりに努めてまいります。

今後も法人としての理念や実績、長年培ってきた知識・園芸経験のアピールに努めながら、市民からの信頼と期待に応える事業展開や着実に確固たる財政基盤の確立にも取り組み、財団一丸となって「感動」と「安らぎ」を提供する快適な園づくりに邁進してまいります。

事業量（有料無料入園者数）	（単位：人）
区 分	入園者数
計 画 目 標	500,000
有料入園者	301,227
無料入園者	159,059
入園者合計	460,286

合計の入園者数は計画目標とした事業量を下回りました。

これは、当年度前半はソメイヨシノの満開時期が重なり、「世界一美しい桜とチューリップの庭園」を目的とした来園者が増加したものの、令和2年3月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響により来場者数が急失速するなど、書き入れ時ともいふべき時期に思ふような集客ができなかったことが大きな要因です。

令和2年度は館山寺総合公園第2期指定管理事業の5年目（最終年）であり、新たな取り組みを行う中で、引き続き風格ある園づくりに努めるとともに、花みどりの効果を活用しての「公園福祉事業」や、「花育」活動の一環としての出張園芸講座及び学生ボランティアの受け入れなどにより、健全な青少年育成を目指す「心根（こころね）」教育振興事業を推進することで、更に顧客満足度を高めてまいります。

(2) 市民や館山寺温泉宿泊客の利便を考慮し、令和元年度も1月1日から開園いたしました。

(3) 職員数は、平成30年度の25人に対し、令和元年度は3人増の28人の組織体制で運営いたしました（令和元年3月31日現在）。嘱託職員等を採用し、人的資源の有効活用を行ったほか、現有人員の業務分担の見直しや繁忙期の臨時雇用による対応も行い、来園者のサービス維持に努めました。

令和2年度以降についてもスタッフの効果的配置により、入園者にとって快適に園内を楽しんでいただけるよう、質の高い管理運営に努めるとともに、園芸技術の次世代への適切な継承等も行ってまいります。

(4) フラワーパークの将来を見据え、新たな魅力づくりの一環として重要視する整備事業（ホワイトガーデンの新規整備、ローズガーデンのリニューアル整備等）を施工し、園の魅力度アップに努めました。

※なお、以降に示す「令和元年度事業報告」には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しないこととします。

2 令和元年度公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業報告

令和元年度事業計画に基づき、次のとおり事業を実施したので報告いたします。

I 事業の概要

1 はまつフラワーパークの入園者実績

(1) 総入園者数 460,286 人

施設名	有料入園者数	無料入園者数	合計入園者数
フラワーパーク	301,227 人	159,059 人	460,286 人
() は前年度	(268,443 人)	(164,012 人)	(432,455 人)

(2) 入園料変動料金制による入園料弾力化やお買物券付入園券の導入、「浜名湖花フェスタ」を毎年継続開催することで、近隣観光施設との連携強化と誘客機能の向上に努めました。

(3) 公式ホームページ上で話題性の高い情報の発信や SNS を活用し、facebook や LINE@ (会員数 2,172 人) にてリアルタイムな情報提供を行いました。

(4) 「世界一美しい桜とチューリップの庭園」に相応しい魅力ある園づくりを推進しました。

2 事業の内容（公益目的事業）

(1) 花きの栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務

ア キクの新品種の導入、試作、展示

イ キクのオリジナル品種（グリーンウインド）の育成及び配布

ウ 浜松 PC ガーベラ部会との共催によるガーベラの普及業務

(2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務

ア 市民からの日常的な園芸相談の対応（電話相談等 540 件）

イ 「塚本こなみ園芸教室」ほか各種園芸教室の開催（計 2 回 270 人）

ウ 教育関係者や児童生徒等の職場体験の積極的受入（中高生等体験学習 13 校 33 人）

エ 小中学校の総合学習との連携事業として地元庄内学園への出張園芸講座及び園児・小学校低学年児童を対象とした「食虫植物教室(144 人)」等実施による「花育」の推進

オ ボランティア 活動の受入及び育成(園内ガイド延べ 1,133 人(花フェスタ時 496 人、通常時 637 人)、園芸作業延べ 916 人 (花フェスタ時 283 人、通常時 633 人) }

カ 「車椅子押し隊」学生ボランティアの参加受入による健全な青少年育成を目指す「心根（こころね）」教育の推進（延べ 31 人）

キ 昆虫イベント等自然体験イベントの開催（カブト虫クワガタワールド等）による教育文化事業の普及と情操教育の推進

ク 市教委と連携し、園内福祉棟に設置された「適応指導教室くろーばー」活用による不登校生徒のための自立と再登校支援の実施

ケ 「健康増進パーク」として市民の健康づくりを实践する事業実施(ノルディックウォーク体験教室やアメイジング・マラソン(ファンランのみ。参加者 161 人)の誘致開催等)

コ パーク管理課技術職員による新規体験教室の多数企画・開催(初心者向けバラ園芸、アジサイ剪定、花しょうぶ育て方、不思議植物体験、花かんむりづくり等)

(3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務

- ア 障がい者や高齢者、社会参画が困難な人々への園芸作業を通じた公園福祉（園芸福祉）事業の実施（ひきこもりサポートセンター等からの実習生受入等）
- イ 地域振興・地域連携の取り組みとして、民間主導の実行委員会形式による「浜名湖花フェスタ」への参画と館山寺温泉観光協会等関係団体との協力連携
- ウ 周辺観光関連業者、地域観光施設との連携による誘客活動の推進（おもてなしクーポンでのスタッフラーの実施）
- エ 各種市民緑花ふれあい事業への参画による市民交流の推進（浜松花と緑の祭参画等）
- オ ニューツーリズム事業としての着地型観光商品造成への参画
（平成 31 年春の「デスティネーションキャンペーン」開催と併せ、当園ならではの花の見所案内企画等による花のまちブランドづくりと誘客プロジェクトへの参画）
- カ 館山寺温泉観光協会と連携し、外国人受入等にも今年度初めて対応したガイド付き蛍ツアーの開催等「蛍の見られる温泉街」の実現（計 27 日間 1,071 人）
- キ 「The hula フェスティバル」開催による市民交流人口の拡大（元年度は台風で中止）
- ク 台湾、ベトナム等アジア諸国を中心としたインバウンド事業での誘客促進の強化
- ケ 「浜松市緑化推進センター」指定管理事業における浜松公園緑地協会との一部事業共同運営による花みどり文化の効果的発信（理事長園芸講座の実施）
- コ 花と緑を育む活動に取り組む協力団体・大学等との異業種交流の推進（地元大学と連携した学生研究発表会開催や夏のオープンキャンパスへの参画等）
- サ 太陽光発電や自動運転技術に取り組む企業とのコラボイベント開催による近未来創造事業への積極的支援の実施
- シ 浜松磐田信金、天竜浜名湖鉄道と連携し、天浜線沿線に花を植え育てる取り組み「花のリレープロジェクト」参画による地域の魅力向上と観光活性化の推進

(4) 花き類の栽培展示業務

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇の装飾
- イ 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の展示充実
- ウ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- エ 早咲き菜の花 10,000 本、ラップスイセン 80,000 球及び早咲きチューリップ 2 万球の展示
- オ 正面ゲート、浜名湖ゲート装飾花壇、日本庭園風の水辺の広場、浮き花壇等への 50 万球のチューリップの展示
- カ フジ（棚・庭木仕立て盆栽鉢 100 株の展示と育成管理、既存フジ棚の拡張と「虹のフジのトンネル」の充実
- キ 西洋シャクナゲ 500 本、ヘメロカリス 500 本の植栽管理
（ゴールドデンウィーク以降も絶え間なく花のリレーが続く園の実現をめざして）
- ク 熱帯スイレンの展示（温室内常設）、熱帯スイレン 30 鉢展示（テラス池）
- ケ 夏花壇としてヒマワリ約 10,000 本の植栽展示

- コ ヒガンバナ類(ヒガンバナ、シロバナマンジュシャゲ、ショウキズイセン)6万本の展示
- サ 百種接分菊(1基)、接分菊ミニ(4基)、トーテムポール菊(200鉢)、世界の菊(200鉢)の展示
- シ モザイク作品撤去後の新たな庭園空間の創造(ホワイトガーデンの造成)
- ス ウェルカムガーデン、スマイルガーデン等の花壇展示による癒し空間の創出
- セ 球根ベゴニア、ランなどの展示と育成管理
- ソ 植物園では全国で初めて開花させたヨルダン国花「ブラックアイリス」の育成管理
- タ 特別企画「大物盆栽展」開催による新たな園芸文化の提案

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理

- ア 夜間開園の実施
- イ 園路舗装修繕、スロープカー設置等ユニバーサルデザインに対応した改修整備の実施
- ウ 園内移動車両(フラワートレイン)3編成(53人乗り/56人乗り/57人乗り。各々車椅子2台収容可)稼働による来場者サービスの充実と入園者利便性の確保
- エ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の育成管理と施設維持
- オ 大温室クリスタルパレス内ガーデンシアター年間展示として下記の企画展を開催
 - (ア) 春 「やさしい時に包まれて」(平成31年春)
 - (イ) 夏 「やすらぎを求めて・・・～旅する気分～」
 - (ウ) 秋 「フラガーデン」「森のささやき」「ハロウィンストリート」
 - (エ) 冬 「クリスマスタウン」「フラワー・バレンタイン」「春ラン漫」
 - (オ) 春 「未来に向かって」(令和2年春)
- カ 「花みどり館」での体験学習機能の強化・充実(各種講演会、教室の開催)
- キ 大温室バリガーデン内熱帯植物(サボテン類、珍しい草花)の育成管理
- ク クリスタルパレス特設展示として植物園で初の絶滅危惧種「ヒカリゴケ」の常設展示
- ケ 新規誘客事業「フジ&スマイルガーデンライトアップ」を初開催(H31.4.26(金)～R1.5.6(月)で3,121人の夜間来場者)。幻想的な美しさによる新たな集客効果を演出。
- コ 園の親しみやすさと憩いの場機能を高めるため、マスコットキャラクター「ふらまる」を活用した広報活動とイメージ戦略の強化

(6) 館山寺総合公園の指定管理業務

- ア 花の図書館として名高い「フラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」をあわせた、日本の都市公園100選でもある「館山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営
- イ 動物園との合同イベントの実施による誘客の取り組み(ウッドバーニング作りの企画)

(7) その他目的を達成するために必要な事業

- ア 駐車場及び遊具施設の管理運営
- イ 各種行事の実施(別記)及び広報活動の推進
 - (ア) イベントポスターの作成(花フェスタ2019Ⅰ期500枚、Ⅱ期500枚、イルミネーシ

- ヨン 1,300 枚)
- (イ) イベントチラシの作成 (花フェスタ 2019 I 期 80,000 枚、II 期 20,000 枚、夏休み 70,000 枚、秋 21,000 枚、イルミ 79,000 枚、早春 9,000 枚)
 - (ウ) 新聞、テレビ等報道機関の取材 299 件
 - (エ) 夏休みイベントとして「水遊び広場」「不思議な植物展」「カブトムシカガバトル」「ザリガニを釣ってみよう」を開催

ウ 関係機関や地域観光施設との連携

- (ア) 館山寺温泉観光協会、浜名湖観光圏内宿泊施設及び周辺観光施設等の広域連携で展開する「浜名湖花フェスタ」の定期開催と花のまちづくりの推進
- (イ) 浜松駅コンコースや駅地下道でのポスター掲示による情報発信の実施
- (ウ) グリーンツーリズム、ホテル等地元観光関連団体と連携した宣伝活動の強化
- (エ) 「動物園裏側探検」等共同イベント開催による浜松市動物園との連携強化
- (オ) 電動移動車両、車椅子、ベビーカー等の適切な維持管理による公園福祉機能の向上
- (カ) フラダンスの一大イベント「The hula フェスティバル」の事業定着化と文化芸術活動の普及推進
- (キ) 国交省「ガーデンツーリズム」計画に「アメイジングガーデン・浜名湖」(当園を含む県西部 7 施設) が選定。庭園観光の中心地と滞在型観光地域づくりを目指した園づくりの推進

3 事業の内容 (収益目的事業)

- (1) 売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業
 - ア 売店事業において、地元農家との連携・地場産花き類販売等による地産地消と市民交流の推進
 - イ ショップ・レストランレジでのクレジットカード機能運用による安定的な収益基盤確立による営業体制の強化
 - ウ 直営レストランの商品構成の随時見直しと新メニュー提供による便益機能の向上 (昨年度に引き続き花みどり館オープンカフェ「ハミング」を入園者ニーズに柔軟に対応した店舗に変更するなど、営業展開を弾力化)
 - エ こども広場における観覧車、各種遊具の安全かつ適切な運行 (快適なアメニティゾーン構築のための整備・充実)

3 フラワーパークイベント等事業報告

※◎印大型イベント, ○印新規・臨時行事

月	行事名	期間等	月	行事名	期間等
平成31年4月	◎世界一美しい「桜とチューリップの庭園」	3/下旬～4/中旬	7月	アサガオ展	20日(土)～21日(日)
	◎夜間開園「夜桜ライトアップ」	3/29日(金)～7日(日)		花・モデル撮影教室	21日(土) (参加 51人)
	サクラソウ展	13日(土)～21日(日)		◎夏休み自然と遊ぼう こども水遊び広場	27日(土)～9/1日(日)
	さくらそう講座	14日(日) (参加 13人)		◎夏休み自然と遊ぼう 食虫植物教室	27日(土)・28日(日) (参加 144人)
	アサガオ作り方教室①<全2回>	21日(日) (参加 26人)		◎夏休み自然と遊ぼう カブトムシ・クワガタワールド	27日(土)～9/1日(日)
	花のウォーキング<全24回>	13日(土)、27日(土) (参加 42人)		◎夏休み自然と遊ぼう 不思議な植物展	27日(土)～9/1日(日)
令和元年5月	◎○夜間開園「フジ&スマイルガーデンライトアップ」	4/26日(火)～6日(金)	8月	花のウォーキング<全24回>	13日(土)、27日(土) (参加 23人)
	和風盆栽展	3日(金)～5日(日)		◎夏休み自然と遊ぼう ザリガニを釣ってみよう	18日(日)
	こどもの日小・中学生無料入園	5日(日)		親子竹細工教室	3日(土) (参加 29人)
	サツキ展	19日(日)～26日(日)		親子秋の草花育て方教室	3日(土) (参加 15組)
	○スマイルガーデンを歩いてみよう	13日(月)		不思議な植物体験	4日(日) (参加 12人)
	菊作り入門教室	20日(月) (参加 6人)		絵本絵画展	4日(日)～6日(火) 11日(日)～13日(火)
	花のウォーキング<全24回>	11日(土)、25日(土) (参加 27人)		○植物で遊ぼう!	10日(土) (参加 19人)
6月	初夏の自然観察会	2日(日) (参加 10人)	9月	夏休み体験手作りフェア	16日(金)～22日(木)
	琴演奏	8日(土)		熱帯植物を観察しよう	17日(土) (参加 10人)
	ハナショウブの育て方教室	15日(土) (参加 3人)		名前入りヒョウタンプレゼント	24日(土) (参加 53人)
	ミツバチ教室	9日(土) (参加 59人)		花のウォーキング<全25回>	10日(土)、24日(土) (参加 17人)
	アサガオ作り方教室②<全2回>	23日(日) (参加 25人)		遠州の自然展	1日(日)～30日(月)
	アジサイの剪定と育て方教室	29日(土) (参加 11人)		バラの育て方教室(夏編)	1日(日) (参加 11人)
	手筒花火	29日(土)		植物の育て方について学ぼう	14日(土) (参加 15人)
	花のウォーキング<全24回>	8日(土)、22日(土) (参加 33人)		花のかんむりを作ろう	21日(土) (参加 14人)
7月	観葉植物を楽しもう	6日(土) (参加 9人)	第49回 金魚品評大会	22日(日)	
	野鳥発見	7日(日) (参加 11人)	花のウォーキング<全24回>	10日(土)、24日(土) (参加 17人)	
	タネだんごをつくろう	7日(日) (参加 3人)			

月	行 事 名	期 間 等	月	行 事 名	期 間 等
10月	全国らんちう品評大会	6日(日)	令和2年1月	◎早春チューリップの展示	1日(水)～2/月上旬
	ザ・フラ・フェスティバル ～The Hula Festival～	中止		2020新春お年玉企画!	1日(水)～3日(金)
	ネイチャークラフトをしてみよう	19日(土) (参加 2人)		七草粥無料接待	7日(火)
	アートフラワー展	19日(土)～27日(日)		フォークトピアLIVE	12日(日)
	秋の錦鯉品評大会	20日(日)		初心者向けバラ園芸教室	25日(土) (参加 15人)
	植物の“タネ”を探そう!!	26日(土)		◎落葉樹の冬姿を観察しよう	25日(土) (参加 10人)
	花のウォーキング<全24回>	12日(土)・26日(土)		花のウォーキング<全24回>	11日(土)・25日(土) (参加 36人)
11月	第68回浜松菊花大会	2日(土)～23日(土)	2月	◎梅&早咲きの桜	2/月上旬～3/月上旬
	百種接分菊展示	上旬～下旬		甘酒無料接待	9日(日)～3/8日(日)の 日曜日(3/1・8 中止)
	老鴉柿展	9日(土)～17日(日)		◎クリスマスローズの育て方教室	1日(日) (参加 31人)
	消防119ふれあいフェア	10日(日)		フラワーバレンタインアレンジ教室	2日(日) (参加 40人)
	キレイな姿勢でウォーキング	17日(日) (参加 16人)		おひなさま展とハンドメイドフェア	8日(土)～16日(日)
	◎夜間開園 フラワー・イルミネーション	23日(土)～1/5(日)		フォークトピアLIVE	9日(日)
	イルミネーション撮影教室	24日(日) (参加 11人)		◎第1回アメイジングマラソン	23日(日) (参加 161人)
	ナイトコンサート	30日(土)～12/22(日)		花のウォーキング<全24回>	9日(土)、23日(土) (参加 35人)
花のウォーキング<全24回>	9日(土)、23日(土) (参加 38人)	3月	春の花をより美しく撮る撮影教室	1日(日) (中止)	
12月	塚本こなみの園芸教室 「フジの盆栽の育て方」		8日(日) (参加 40人)	春の錦鯉品評大会	15日(日) (中止)
	クリスマス・アレンジ教室		8日(日) (参加 9人)	ウッドバーニング作品作り	29日(日) (中止)
	ミニ門松作り教室		14日(土) (参加 26人)	◎世界一美しい 「桜とチューリップの庭園」	3/月上旬～4/中旬
	クリスマス・リース教室		15日(日) (参加 12人)	◎夜間開園「夜桜ライトアップ」	中止
	花のウォーキング<全24回>	14日(土)、28日(土) (参加 12人)	花のウォーキング<全24回>	14日(土)・28日(土) (中止)	

【浜名湖花フェスタ2019 園芸教室・講演会等開催実績】

- 4月14日(日) 「佐原園長の園内うんちく散歩」
- 4月27日(土)～5月6日(月) 「コンテナガーデンコンテスト」
- 4月29日(月) 「塚本理事長のフジの育て方教室」
- 5月 7日(火)～6月 30日(日) 「親子ミニガーデンコンテスト」
- 5月11日(土) 【講演】山田香織トークショー
- 5月19日(日) 「佐原園長の園内うんちく散歩」
- 6月 9日(日) 「佐原園長の園内うんちく散歩」

4 議決事項

(1) 理事会議決事項

議決事項	議決年月日	件名
第1号議案	令和1.6.7	平成30年度事業報告及び会計報告の承認について(別冊)
第2号議案	〃	令和元年度定時評議員会招集及び提出議案について
報第1号	令和1.9.25	直近の事業状況について(報告)
報第2号	〃	「浜名湖花フェスタ2019」事業について(報告)
報第3号	令和1.12.13	直近の事業状況について(報告)
第3号議案	〃	公益財団法人浜松市花みどり振興財団組織及び処務規程の一部改正について
第4号議案	令和2.3.13	公益財団法人浜松市花みどり振興財団職員給与規程の一部改正について
第5号議案	〃	公益財団法人浜松市花みどり振興財団組織及び処務規程の一部改正について
第6号議案	〃	公益財団法人浜松市花みどり振興財団職員の任免服務等に関する規程の一部改正について
第7号議案	〃	令和2年度公益財団法人浜松市花みどり振興財団事業計画について
第8号議案	〃	令和2年度公益財団法人浜松市花みどり振興財団収支予算について
報第4号	〃	直近の事業状況について(報告)

(2) 評議員会議決事項

議決事項	議決年月日	件名
第1号議案	令和1.6.21	平成30年度事業報告及び会計報告の承認について(別冊)
第2号議案	〃	理事の選任について
第3号議案	〃	評議員の選任について

5 役員に関する事項

(1) 理事・監事

令和 2年 3月31日現在

役員名等	氏 名	備 考
理事長	塚本こなみ	樹木医
副理事長	金原 貴	館山寺温泉観光協会 会長
常務理事	山本 泉	学識経験者（浜松市OB）
理事	安間 清弘	前庄内地区自治連合会長
理事	福田 俊子	聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授
理事	今田 欽也	学識経験者（前浜松市議会議員）
理事	後藤 康志	(公財)浜松市文化振興財団 文化事業課長
理事	鈴木 康久	(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 誘客推進事業部長
理事	藤野 正己	PCガーベラ部会
理事	鈴木 ふさ	行政書士
理事	野中 廣吉	平松観光アグリス浜名湖
監事	小杉 和弘	浜松商工会議所 専務理事
監事	守田 泰男	遠州信用金庫理事長

(2) 評議員

令和 2年 3月31日現在

区分	氏 名	備 考
評議員	佐藤 英年	浜名商工会 庄内支所
評議員	大石 好孝	浜松市こども会連合会 会長
評議員	荒巻太枝子	浜松市私立幼稚園協会 会長
評議員	長田 繁喜	浜松市副市長
評議員	花井 和徳	浜松市教育長
評議員	佐藤 育男	(株)中日新聞社取締役 東海本社代表
評議員	石田 伸吾	(株)静岡新聞社常務取締役 浜松総局長
評議員	鈴木 和俊	JAとぴあ浜松 経営管理委員会 会長
評議員	中村 幸浩	浜松旅行業協議会 (株)遠鉄トラベル代表取締役社長)

6 職員に関する事項

区分	平成31年3月31日現在				令和2年3月31日現在				備考
	人数	事務員	技術員	嘱託等	人数	事務員	技術員	嘱託	
事務局長	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	常務理事兼務
フラワーパーク	フラワーパーク園長	-	-	-	-	-	-	-	H28.4～顧問
	総務課長	1	1	-	-	1	1	-	
	同補佐	-	-	-	-	1	1	-	
	総務グループ長	1	1	-	-	1	1	-	
	総務グループ	7	5	-	2	7	5	-	2
	動物園施設管理担当	2	2	-	-	2	2	-	-
	パーク管理課長	1	-	1	-	1	-	1	-
	同補佐	1	-	1	-	1	-	1	-
	チーム長	-	-	-	-	4	-	4	-
	園芸第1グループ長	(1)	-	-	-	-	-	-	-
	園芸第2グループ長	(1)	-	-	-	-	-	-	-
	園芸チーム	-	-	-	-	10	1	8	1
	園芸第1グループ	7	-	7	-	-	-	-	-
	園芸第2グループ	5	-	4	1	-	-	-	-
フラワーパーク計	25	9	13	3	28	11	14	3	
【内訳】									
事務員	9	9	-	-	11	11	-	-	
技術員	13	-	13	-	14	-	14	-	
嘱託職員(常勤)	3	-	-	3	3	-	-	3	
財団合計	25	9	13	3	28	11	14	3	
出納長	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	事務局長兼務
出納員	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	総務課長兼務

※ () は兼務。

B 事業会計決算

1 貸借対照表

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	12,352,624	31,970,495	△19,617,871
預金	197,089,108	188,102,478	8,986,630
貯蔵品	8,395,198	9,207,064	△811,866
未収金	14,650,626	27,593,404	△12,942,778
立替金	117,407	-	117,407
前払費用	99,940	85,230	14,710
流動資産合計	232,704,903	256,958,671	△24,253,768
2 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	55,000,000	55,000,000	-
基本財産合計	55,000,000	55,000,000	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	131,692,000	122,828,000	8,864,000
特定資産合計	131,692,000	122,828,000	8,864,000
(3) その他固定資産			
土地	14,200,765	14,200,765	-
構築物	1	5	△4
車輛	7	7	-
器具備品	10	10	-
ソフトウェア	3	3	-
リース資産	2,556,838	1,192,074	1,364,764
出資金	10,000	10,000	-
その他固定資産合計	16,767,624	15,402,864	1,364,760
固定資産合計	203,459,624	193,230,864	10,228,760
資産合計	436,164,527	450,189,535	△14,025,008

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	7,737,114	13,006,660	△5,269,546
未払金	23,545,988	32,718,744	△9,172,756
未払費用	14,718,309	14,763,748	△45,439
未払法人税等	71,000	71,000	-
未払消費税	7,605,700	2,415,000	5,190,700
預り金	4,771,044	1,350,193	3,420,851
リース債務	950,856	519,432	431,424
賞与引当金	8,432,000	7,526,000	906,000
流動負債合計	67,832,011	72,370,777	△4,538,766
2 固定負債			
退職給付引当金	131,692,000	122,828,000	8,864,000
リース債務	1,605,982	672,642	933,340
固定負債合計	133,297,982	123,500,642	9,797,340
負債合計	201,129,993	195,871,419	5,258,574
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	5,000,000	5,000,000	-
寄付金	50,000,000	50,000,000	-
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	-
指定正味財産合計	55,000,000	55,000,000	-
2 一般正味財産			
一般正味財産	180,034,534	199,318,116	△19,283,582
正味財産合計	235,034,534	254,318,116	△19,283,582
負債及び正味財産合計	436,164,527	450,189,535	△14,025,008

2 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	5,513	5,500	13
イ 特定資産運用益	12,295	11,644	651
ウ 事業収益	419,239,322	386,508,470	32,730,852
入園料収益	204,470,370	177,146,529	27,323,841
レストラン売上収益	47,647,923	45,503,589	2,144,334
売店売上収益	88,839,103	85,878,812	2,960,291
駐車場使用料収益	41,527,300	42,681,500	△ 1,154,200
園内移動車両使用料収益	9,029,300	10,037,800	△ 1,008,500
施設使用料収益	13,101,103	14,064,708	△ 963,605
その他使用料収益	10,038,374	6,772,656	3,265,718
受取雑収入	826,075	912,921	△ 86,846
受取謝礼金	2,909,040	2,849,533	59,507
受取イベント参加収入	850,734	660,422	190,312
エ 受取受託料	20,630,860	27,822,204	△ 7,191,344
オ 受取指定管理料	112,772,578	111,742,555	1,030,023
カ 受取寄附金	10,018,000	10,000,000	18,000
キ 雑収益	7,362	7,234	128
受取利息	7,362	7,234	128
経常収益計	562,685,930	536,097,607	26,588,323
(2) 経常費用			
ア 事業費	536,535,507	512,090,120	24,445,387
報酬	5,725,200	5,725,200	0
給料	83,010,600	80,339,770	2,670,830
職員手当	33,412,454	29,206,569	4,205,885
法定福利費	20,575,733	20,259,430	316,303
退職給付費用	9,616,700	6,658,529	2,958,171
賃金	103,302,411	100,784,137	2,518,274
旅費交通費	208,070	161,090	46,980
報償費	10,975,007	8,948,402	2,026,605
燃料費	9,681,174	10,368,443	△ 687,269
光熱水費	19,215,571	22,453,626	△ 3,238,055
備用品費	16,081,057	16,747,060	△ 666,003
印刷製本費	1,345,650	1,655,956	△ 310,306
通信運搬費	1,517,913	929,105	588,808
広告宣伝費	17,482,898	13,222,478	4,260,420
手数料	12,013,741	9,676,563	2,337,178
交際費	0	12,000	△ 12,000
会議費	745,629	910,362	△ 164,733
厚生福利費	0	6,914	△ 6,914
負担金	18,500	4,000	14,500
公課費	238,300	260,925	△ 22,625
被服費	1,021,180	603,036	418,144
賃借料	1,277,900	1,451,430	△ 173,530
寄付金	1,000,000	0	1,000,000
雑費	35,827	26,821	9,006
委託費	37,583,874	36,553,495	1,030,379

科 目	当年度	前年度	増減
修繕費	14,669,025	8,678,405	5,990,620
保険料	1,289,134	1,311,950	△ 22,816
原材料費	2,870,478	3,718,248	△ 847,770
肥料農薬費	3,181,765	3,303,549	△ 121,784
種苗費	38,209,215	44,675,539	△ 6,466,324
売店材料費	65,235,276	60,193,533	5,041,743
食材費	24,102,700	22,227,201	1,875,499
棚卸減耗費	100,826	486,399	△ 385,573
減価償却費	791,699	529,955	261,744
イ 管理費	45,434,005	39,458,544	5,975,461
報酬	5,771,200	5,775,200	△ 4,000
給料	5,998,800	5,811,450	187,350
職員手当	2,756,530	2,401,523	355,007
法定福利費	2,348,060	2,266,706	81,354
厚生福利費	290,289	277,775	12,514
通信運搬費	47,000	29,000	18,000
委託費	1,635,000	1,620,000	15,000
手数料	2,078,219	331,015	1,747,204
公課費	71,000	71,000	0
負担金	914,100	836,795	77,305
備用品費	1,266,407	500,880	765,527
消費税	22,257,400	19,537,200	2,720,200
経常費用計	581,969,512	551,548,664	30,420,848
当期経常増減額	△ 19,283,582	△ 15,451,057	△ 3,832,525
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	3	△ 3
経常外費用計	0	3	△ 3
当期経常外増減額	0	△ 3	3
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 19,283,582	△ 15,451,060	△ 3,832,522
一般正味財産期首残高	199,318,116	214,769,176	△ 15,451,060
一般正味財産期末残高	180,034,534	199,318,116	△ 19,283,582
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0
III 正味財産期末残高	235,034,534	254,318,116	△ 19,283,582

3 正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
ア 基本財産運用益	5,513	0	0	0	5,513
イ 特定資産運用益	8,607	3,688	0	0	12,295
ウ 事業収益	260,138,312	159,326,634	0	△ 225,624	419,239,322
入園料収益	204,470,370	0	0	0	204,470,370
レストラン売上収益	0	47,785,673	0	△ 137,750	47,647,923
売店売上収益	0	88,926,977	0	△ 87,874	88,839,103
駐車場使用料収益	41,527,300	0	0	0	41,527,300
園内移動車両使用料収益	9,029,300	0	0	0	9,029,300
施設使用料収益	10,000	13,091,103	0	0	13,101,103
その他使用料収益	572,621	9,465,753	0	0	10,038,374
受取雑収入	768,947	57,128	0	0	826,075
受取謝礼金	2,909,040	0	0	0	2,909,040
受取イベント参加収入	850,734	0	0	0	850,734
エ 受取受託料	20,630,860	0	0	0	20,630,860
オ 受取指定管理料	84,481,838	4,446,413	23,844,327	0	112,772,578
カ 受取寄附金	10,018,000	0	0	0	10,018,000
キ 雑収益	7,362	0	0	0	7,362
受取利息	7,362	0	0	0	7,362
経常収益計	375,290,492	163,776,735	23,844,327	△ 225,624	562,685,930
(2) 経常費用					
ア 事業費	386,875,410	149,885,721	0	△ 225,624	536,535,507
報酬	5,725,200	0	0	0	5,725,200
給料	77,179,800	5,830,800	0	0	83,010,600
職員手当	31,941,928	1,470,526	0	0	33,412,454
法定福利費	17,251,963	3,323,770	0	0	20,575,733
退職給付費用	6,731,700	2,885,000	0	0	9,616,700
賃金	78,115,119	25,187,292	0	0	103,302,411
旅費交通費	208,070	0	0	0	208,070
報償費	3,029,949	7,945,058	0	0	10,975,007
燃料費	9,681,174	0	0	0	9,681,174
光熱水費	14,299,500	4,916,071	0	0	19,215,571
備用品費	13,736,526	2,344,531	0	0	16,081,057
印刷製本費	1,189,050	156,600	0	0	1,345,650
通信運搬費	1,516,113	1,800	0	0	1,517,913
広告宣伝費	17,707,598	924	0	△ 225,624	17,482,898
手数料	7,860,195	4,153,546	0	0	12,013,741
会議費	745,629	0	0	0	745,629
負担金	0	18,500	0	0	18,500
公課費	238,300	0	0	0	238,300
被服費	973,430	47,750	0	0	1,021,180
賃借料	567,009	710,891	0	0	1,277,900
寄付金	1,000,000	0	0	0	1,000,000
雑費	35,827	0	0	0	35,827
委託費	36,879,276	704,598	0	0	37,583,874

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
修繕費	14,320,303	348,722	0	0	14,669,025
保険料	1,280,634	8,500	0	0	1,289,134
原材料費	2,870,478	0	0	0	2,870,478
肥料農薬費	3,181,765	0	0	0	3,181,765
種苗費	38,209,215	0	0	0	38,209,215
売店材料費	0	65,235,276	0	0	65,235,276
食材費	0	24,102,700	0	0	24,102,700
棚卸減耗費	0	100,826	0	0	100,826
減価償却費	399,659	392,040	0	0	791,699
イ 管理費	14,689,884	6,899,794	23,844,327	0	45,434,005
報酬	0	0	5,771,200	0	5,771,200
給料	0	0	5,998,800	0	5,998,800
職員手当	0	0	2,756,530	0	2,756,530
法定福利費	0	0	2,348,060	0	2,348,060
厚生福利費	0	0	290,289	0	290,289
通信運搬費	0	0	47,000	0	47,000
委託費	0	0	1,635,000	0	1,635,000
手数料	0	0	2,078,219	0	2,078,219
公課費	0	0	71,000	0	71,000
負担金	0	0	914,100	0	914,100
備用品費	0	0	1,266,407	0	1,266,407
消費税	14,689,884	6,899,794	667,722	0	22,257,400
経常費用計	401,565,294	156,785,515	23,844,327	△ 225,624	581,969,512
当期経常増減額	△ 26,274,802	6,991,220	0	0	△ 19,283,582
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 26,274,802	6,991,220	0	0	△ 19,283,582
他会計振替額	148,000	△ 148,000	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 26,126,802	6,843,220	0	0	△ 19,283,582
一般正味財産期首残高	71,717,760	127,600,356	0	0	199,318,116
一般正味財産期末残高	45,590,958	134,443,576	0	0	180,034,534
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000,000	0	0	0	55,000,000
指定正味財産期末残高	55,000,000	0	0	0	55,000,000
III 正味財産期末残高	100,590,958	134,443,576	0	0	235,034,534

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、先入先出法による原価法による。

イ 固定資産の減価償却の方法

(構築物・車輛・器具備品・ソフトウェア)

定額法によっている。法人税法に定める耐用年数を使用している。

(リース資産)

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっている。

- ・冷凍庫 1 台・・・レストラン食材を冷凍保管するための機械装置である。
- ・複合機 2 台・・・事務所、パーク棟で利用する FAX 機能付き機械装置である。
- ・サーバー 1 台・・・データファイル共有、保管等大容量 HDD 搭載機器である。
- ・プリンター 1 台・・・宣伝用ポスター、各種イベント案内等の大型印刷装置である。
- ・会計ソフト 1 式・・・エプソン社「財務応援 Ai」会計ソフトである。

ウ 引当金の計上基準

退職給付引当金

当期末における退職給付の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金

翌年度の職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に帰属する額（12月から3月の4ヶ月分）を、計上している。

エ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 会計方針の変更

該当なし

(3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	55,000,000	0	0	55,000,000
小 計	55,000,000	0	0	55,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	122,828,000	9,616,700	752,700	131,692,000
小 計	122,828,000	9,616,700	752,700	131,692,000
合 計	177,828,000	9,616,700	752,700	186,692,000

(4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	55,000,000	(55,000,000)	-	-
小 計	55,000,000	(55,000,000)	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	131,692,000	-	-	(131,692,000)
小 計	131,692,000	-	-	(131,692,000)
合 計	186,692,000	(55,000,000)	-	(131,692,000)

(5) 担保に供している資産

該当なし

(6) 保証債務等の偶発債務

ア 和解した係争案件

園内で発生したクレーン車輛転倒事故において、クレーン所有者であり、原告の有限会社明和重機から当財団他1名が修繕料及び支払完了時までの年5分の費用等の支払いを求められた事案について、下記の通り和解が成立した。

①当該事象の発生年月日 平成27年9月4日（クレーン車輛転倒事故発生日）

②訴訟の提起から和解に至るまでの経緯

園内で発生したクレーン横転事故に関する裁判について、静岡地方裁判所における平成30年11月12日の決定により、訴訟費用は原告、被告財団、受注会社である被告渥美造園で3分するよう、それぞれ命じる判決があった。

これに対し当財団は判決を不服として平成30年11月22日付で東京高等裁判所に控訴した。その後、本件訴訟の早期解決を図る観点から、令和元年9月12日付けで同裁判所からの和解勧告を受け、当財団は和解に応じることとした。

③和解の内容

クレーン被害認定額を780万円、当財団倉庫被害認定額を45万円としたうえで、横転事故の過失割合を原告5、被告渥美4、当財団1とした。

④当該事象の損益に与える影響額

本件和解により、令和元年度決算において和解金33万円を経常費用の管理費として計上した。

(7) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地	14,200,765	0	14,200,765
構築物	1,050,000	1,049,999	1
車輛	3,522,766	3,522,759	7
器具備品	11,395,410	11,395,400	10
ソフトウェア	3,200,400	3,200,397	3
リース資産	4,361,603	1,804,765	2,556,838
合 計	37,730,944	20,973,320	16,757,624

(8) 補助金及び寄付金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金及び寄付金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金及び寄付金の名称及び交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金 浜松市	5,000,000	0	0	5,000,000	指定正味財産
寄付金 浜松市	50,000,000	0	0	50,000,000	指定正味財産
合計	55,000,000	0	0	55,000,000	

(9) 退職給付関係

ア 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けている。退職一時金制度は簡便法により、退職給付引当金及び退職給付費用を計算している。

イ 確定給付制度

① 簡便法を適用した制度の退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	122,828,000 円
退職給付費用	9,616,700 円
<u>退職給付の支払額</u>	<u>752,700 円</u>
退職給付引当金の期末残高	131,692,000 円

② 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

<u>非積立型制度の退職給付債務</u>	<u>131,692,000 円</u>
貸借対照表に計上された負債	131,692,000 円

<u>退職給付引当金</u>	<u>131,692,000 円</u>
貸借対照表に計上された負債	131,692,000 円

③ 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	9,616,700 円
----------------	-------------

5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているため、内容の記載を省略する。

(2) 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	7,526,000	8,432,000	7,526,000	0	8,432,000
退職給付引当金	122,828,000	9,616,700	752,700	0	131,692,000

6 財産目録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金として	12,352,624
	預金	普通預金 静岡銀行舘山寺支店等	運転資金として	197,089,108
	貯蔵品	売店材料棚卸資産等	収益事業に係る商品	8,395,198
	未収金	観光券等入園料等	公益事業に係る未収入金	14,650,626
	立替金	花のまちづくり大会経費	公益事業に係る立替金	117,407
	前払費用	翌年度施設賠償保険等	公益事業に係る費用	99,940
流動資産合計				232,704,903
(固定資産)	基本財産	預金	定期預金	共用財産であり、運用益を公益事業・運営費財源として使用 ＜基本財産計＞
			静岡銀行浜松営業部 静岡銀行舘山寺支店	
特定資産	退職給付引当資産	定期預金	遠州信用金庫舘山寺支店	退職金支払に備えた資産として使用
			静岡銀行舘山寺支店	44,552,000
			浜松磐田信用金庫湖東支店	37,140,000
			＜特定資産計＞	131,692,000
その他 固定資産	土地	臨時駐車場用地	共用財産であり、公益事業の用に供している。	14,200,765
	構築物	パイプトンネル等		1
	車輛	作業車軽トラック等		7
	器具備品	管理機、サーバー等		10
	ソフトウェア	給与、就業、償却システム	共用財産、公益事業用	3
	リース資産	冷凍庫・複合機等	共用財産、公益・収益事業用	2,556,838
	出資金	遠州信用金庫舘山寺支店	共用財産、公益事業用 ＜その他固定資産計＞	10,000 16,767,624
固定資産合計				203,459,624
資産合計				436,164,527

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	買掛金	売店商品、食材仕入代	収益事業に係る買掛金	7,737,114
	未払金	物品購入代	公益事業に係る未払金	23,545,988
	未払費用	3月分職員手当、賃金、社会保険料等	職員3月分手当等未払費用	14,718,309
	未払法人税等	法人税	事業に係る未払法人税	71,000
	未払消費税	消費税	事業に係る未払消費税	7,605,700
	預り金	社会保険料、協賛金等	職員の社保料の預り金	4,771,044
	リース債務	冷凍庫・複合機等	公益・収益事業に供する機器債務	950,856
	賞与引当金	6月支払額の当年度分	職員の賞与の引当金	8,432,000
流動負債合計				67,832,011
(固定負債)	退職給付引当金	令和2年3月末現在の要支給額	職員の退職給付の引当金	131,692,000
	リース債務	冷凍庫・複合機等	公益・収益事業に供する機器債務	1,605,982
固定負債合計				133,297,982
負債合計				201,129,993
正味財産				235,034,534